

丹波地域の今とこれからのに関するアンケート結果



令和3年10月

兵庫県丹波県民局

<調査概要>

現行ビジョンの5つの将来像の達成状況の把握し、また丹波地域への率直な思いを様々な形で伺うため、丹波地域に関わりのある方を対象としたアンケート調査を下記のとおり実施した。

記

- 1 アンケート名 丹波地域の今とこれからのに関するアンケート
- 2 調査対象 丹波地域に関わりのある方
(丹波篠山市及び丹波市外の在住者も含む)
- 3 実施形式 計15問のアンケートにweb上で回答
- 4 調査期間 令和3年8月24日(火)～令和3年9月30日(木)まで
- 5 回答数 983名

○性別

男性	541
女性	423
指定しない	14
無回答	5
計	983

○年齢

10代	236
20代	82
30代	96
40代	182
50代	229
60代	116
70代	36
80代以上	4
無回答	2
計	983

○居住地

丹波篠山市	196
丹波市	538
その他	240
無回答	9
計	983

<結果概要>

項目	結果概要
〔Q1〕 主体的に地域課題の解決に活動する地域か	丹波地域が地域課題に主体的に解決する地域とみる人が、「そう思う(15%)」「まあそう思う(43%)」と半数以上を占める
〔Q2〕 移住者(地元の方)との交流はあるか	「そう思う(16%)」「まあそう思う(40%)」と、移住者と地域の方の交流は進んでいる
〔Q3〕 地域との関わりを深めたいか	地域との関わりを今よりも深めたいと思っている人が「そう思う(21%)」「まあそう思う(46%)」と多数にのぼる
〔Q4〕 誰もが地域の一員として役割を發揮できているか	「そう思わない(12%)」「あまり思わない(34%)」の割合が「そう思う(7%)」「まあそう思う(32%)」の割合を上回り、誰もが地域の一員として役割を發揮できているとみる人は多くない
〔Q5〕 10年前に比べて豊かになったか	この10年で、丹波地域の生活の利便性が良くなったと思う人が増えている
〔Q6〕 丹波地域の活気に結び付くと感じる産業	「農林業」が最も丹波地域の活気に結び付く産業と認識されており、次いで「宿泊、飲食サービス業」、「医療、福祉」が続く
〔Q7〕 10年前から食の関心は高まっているか	この10年で、食への関心が高まっていると思う人は「そう思う(13%)」「まあそう思う(48%)」と増えている
〔Q8〕 誇りを持って「帰ってこい」と言えるか	誇りを持って「帰ってこい」といえる地域だと思う人は「そう思う(10%)」「まあそう思う(33%)」と、まだ少数にとどまっている
〔Q9〕 「ふるさと丹波」で思い浮かべるもの	「ふるさと丹波」という言葉で思い浮かべるものとして「丹波の自然が」最も多く、次いで「黒豆や栗などの味覚」が続く
〔Q10〕 丹波の森づくりの理念や活動を知っているか	若い世代を中心に、丹波の森づくり自体知らない人も増えてきている
〔Q11〕 社会が変化する中、丹波地域も変わる必要があるか	「そう思う(50%)」「まあそう思う(36%)」と、多くの人が丹波地域の変化の必要性を感じている
〔Q12〕 20年前(10年前)の夢が叶ったか	「そう思う(6%)」「まあそう思う(26%)」と、20年前や10年前の夢が叶ったと感じる人は少数派である
〔Q13〕 2050年、人型ロボットはあるか	「そう思う(18%)」「まあそう思う(23%)」と、4割程度にとどまる
〔Q14〕 2050年、空飛ぶクルマ等で自由に移動できるか	「そう思う(13%)」「まあそう思う(22%)」と、4割程度にとどまる
〔Q15〕 地域にどんな恩返しや貢献ができるか	437人から回答があった(回答率44%) ※意見の一部は<調査結果>を参照
〔自由記述〕丹波地域にあったらいいなと思うもの、地域への不満 など	309人から回答があった(回答率31%) ※意見の一部は<調査結果>を参照

<10代の回答の特徴（全体との比較）>

- ・以下の設問では、「そう思う」「まあそう思う」の回答割合で、10ポイント以上の差が見られた

〔Q4〕誰もが地域の一員として役割を發揮できているか

10代：58% > 全体：39%

〔Q10〕丹波の森づくりの理念や活動を知っているか

10代：7% < 全体：27%

〔Q12〕20年前(10年前)の夢が叶ったか

10代：12% < 全体：32%

- ・複数回答の以下設問では、順位の差などで異なる傾向が見られた

〔Q5〕10年前に比べて豊かになったか

全体では、10代に比べ「豊かになったと思わない」と思う割合が高かった。

〔Q6〕丹波地域の活気に結び付くと感じる産業

10代・全体とも第1位は「農業、林業」であったが、第2位は、10代では「医療、福祉」であるのに対し、全体では「宿泊業、飲食サービス業」であった。

- * 全体で見ると、誰もが地域の一員として役割を發揮できているとみる人は多くはない一方で、10代の半数以上の人々が、丹波地域では誰もが地域の一員として役割を發揮できていると感じている。このことから、地域づくりの潜在的な担い手はまだいると考えられる。
- * 丹波の森づくりについて、その理念や活動を知っている人は、全体でも3割未満と少ないが、10代では1割未満と更に少ない。地域社会に目を向けると、地域（森）づくりが進展するなかでも、人口減少・高齢化に伴いコミュニティ機能の維持が年々難しくなりつつある。今一度、原点である丹波の森づくりの理念に立ち返り、運動としての森づくりの気運を高めつつも、これまでの習慣や枠組みにとらわれず、時代に即した新しいコミュニティのあり方を模索していく必要がある。
- * 「10年前の夢が叶ったか」という質問に対して、10代は「そう思う」「まあそう思う」の割合が12%と低い数値であった。これは、「どちらともいえない」の回答が約半数を占めていることから、丹波地域の10代は夢の実現に向け歩んでいる途中であるとも言える。ただし、全体で見ても「そう思う」「まあそう思う」の割合は32%にとどまっている。
- * 丹波地域を活気づけると感じる産業として、全体・10代とも第1位は「農業、林業」であった。全体では、第2位、第3位が「宿泊業、飲食サービス業」「医療、福祉」の順に続いた。一方10代では「医療、福祉」「宿泊業、飲食サービス業」の順で続き、その順位が逆転している。また第4位は、全体・10代とも「教育、学習支援業」であるが、10代ではその割合が高く、自分事として捉えやすい分野の産業が、地域の活気に結びつくと思われている。

<回答者の属性（フェイスシート）>

○性別

男性	541
女性	423
指定しない	14
無回答	5
計	983

○年齢

10代	236
20代	82
30代	96
40代	182
50代	229
60代	116
70代	36
80代以上	4
無回答	2
計	983

○居住地

丹波篠山市	196
丹波市	538
その他	240
無回答	9
計	983

○ビジョン委員の経験者(複数回答)

第1期(平成13～14年度)	4
第2期(平成15～16年度)	7
第3期(平成17～18年度)	0
第4期(平成19～20年度)	5
第5期(平成21～23年度)	7
第6期(平成24～25年度)	9
第7期(平成26～27年度)	9
第8期(平成28～29年度)	18
第9期(平成30～31年度)	21
第10期(令和2～3年度)	19
ビジョン委員の経験はないが、興味・関心がある	139

○職業

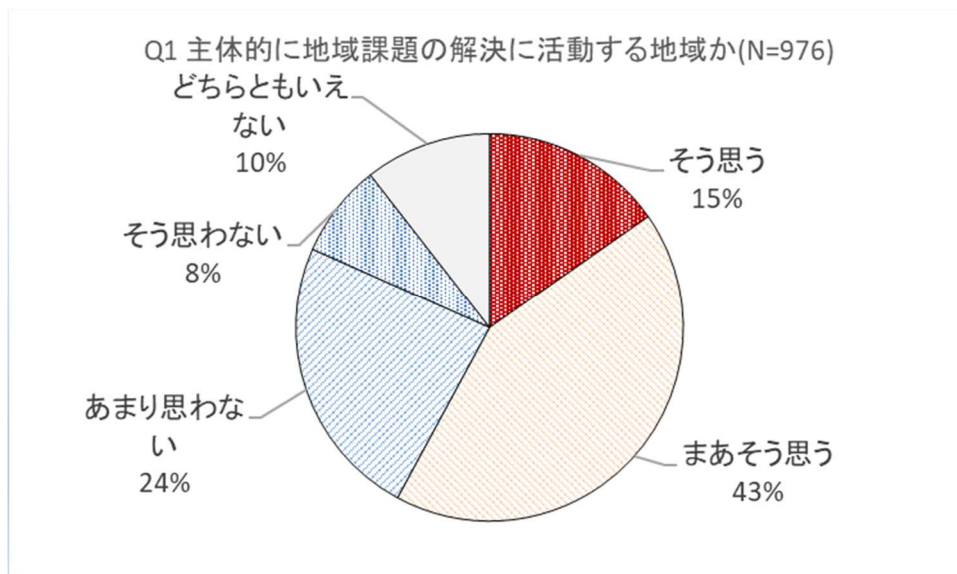
自営業	65
正規の職員、従業員	421
会社などの役員	38
派遣社員	6
家族従業者	4
パート・アルバイトなど	98
学生	254
専業主婦(夫)	17
無職	29
その他	49
無回答	2
計	983

○居住地が「その他」の方の
丹波地域とのつながり(複数回答)

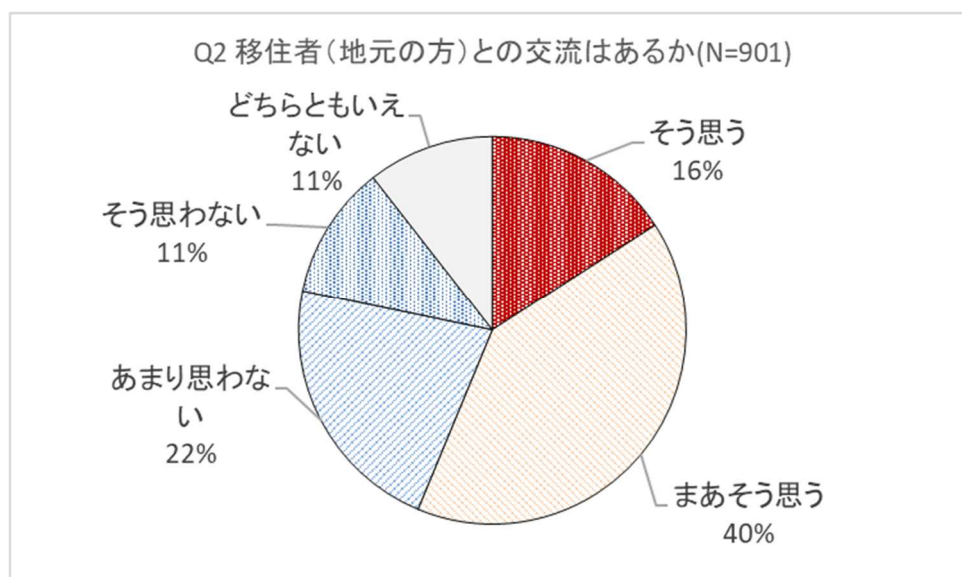
丹波地域で生まれた、 または暮らしたことがある	78
親戚の家がある	40
仕事やボランティアで関わっている	139
観光で訪れる	43
その他(学生団体の活動など)	21
計	321

<調査結果>

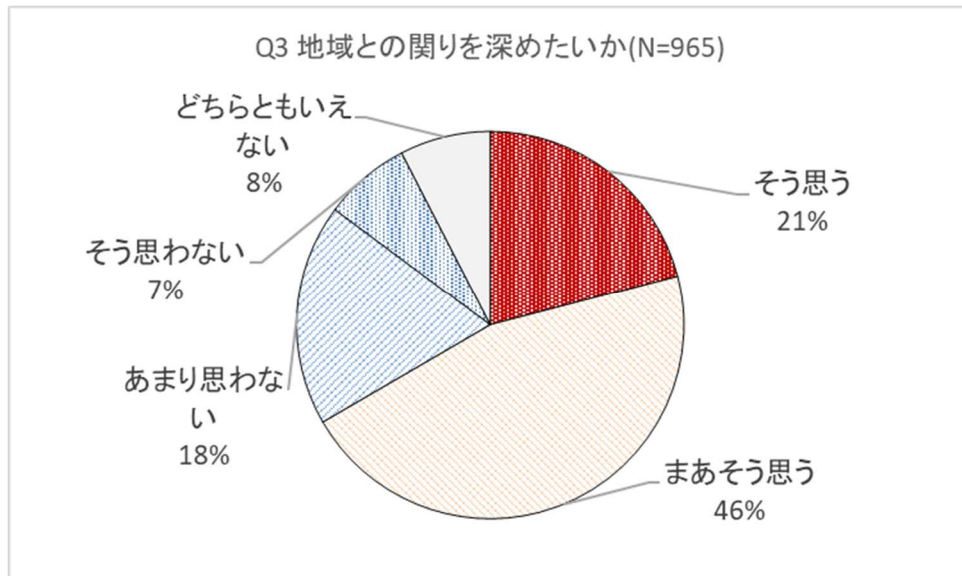
Q1. 丹波地域は、地域課題の解決に向けて地域住民が主体的に活動する地域だと思いますか。



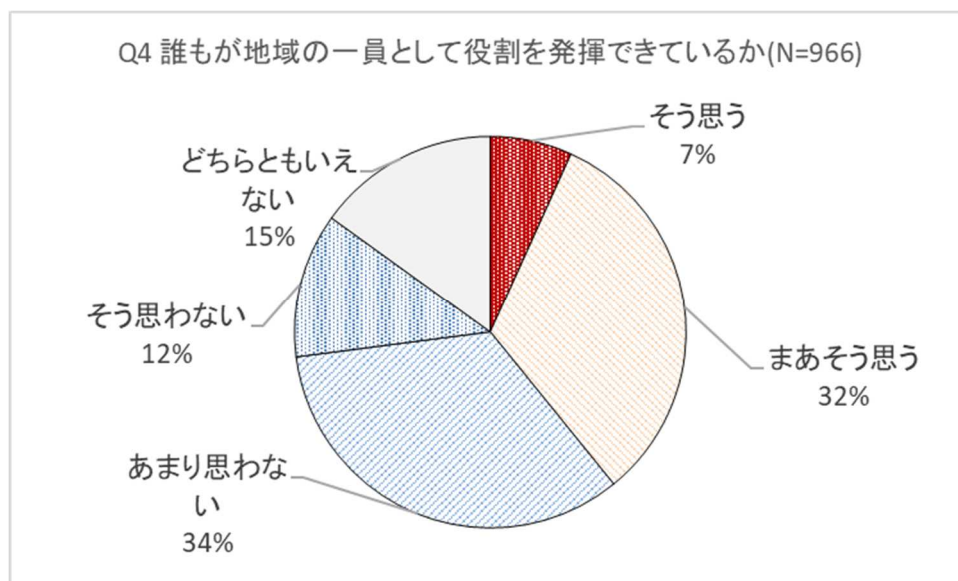
Q2. (丹波地域が地元の方) 丹波地域へ移住されてきた方との交流はあると思いますか。(移住してこられた方) 地域の人との交流はあると思いますか。



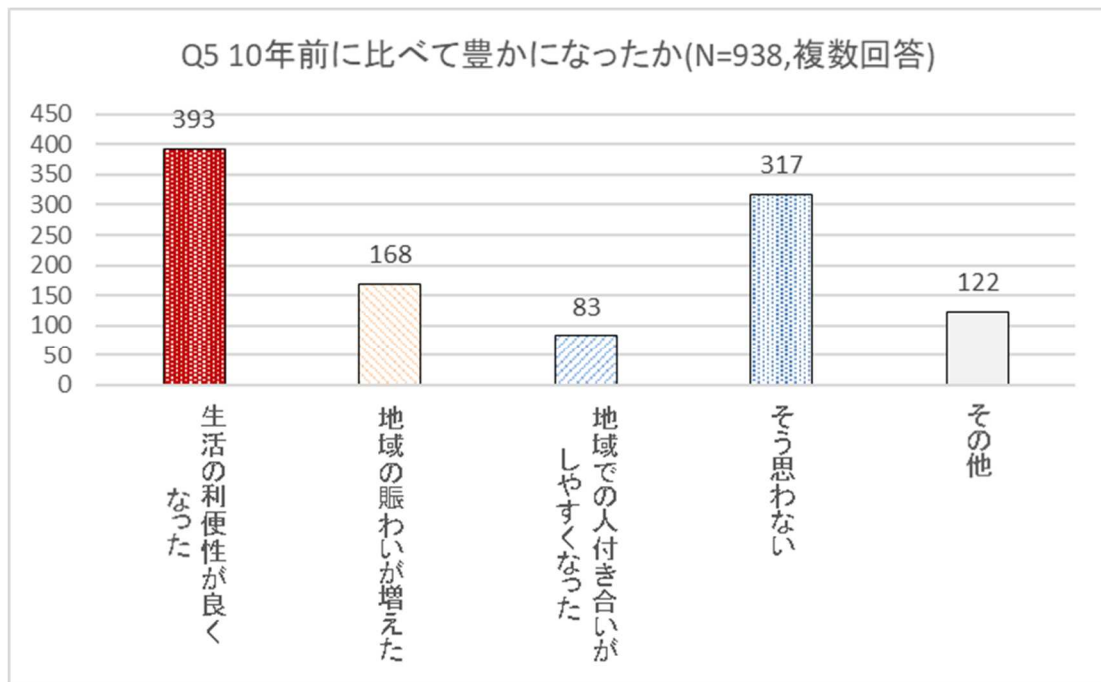
Q3. あなたは、地域との関わり（自治会活動への参加、困ったときの支えあいなど）を今よりも深めたいと思っていますか。



Q4. 丹波地域では、国籍、文化、年齢、性別、障がいの有無などに関わりなく、誰もが地域の一員として役割を發揮できていると思いますか。



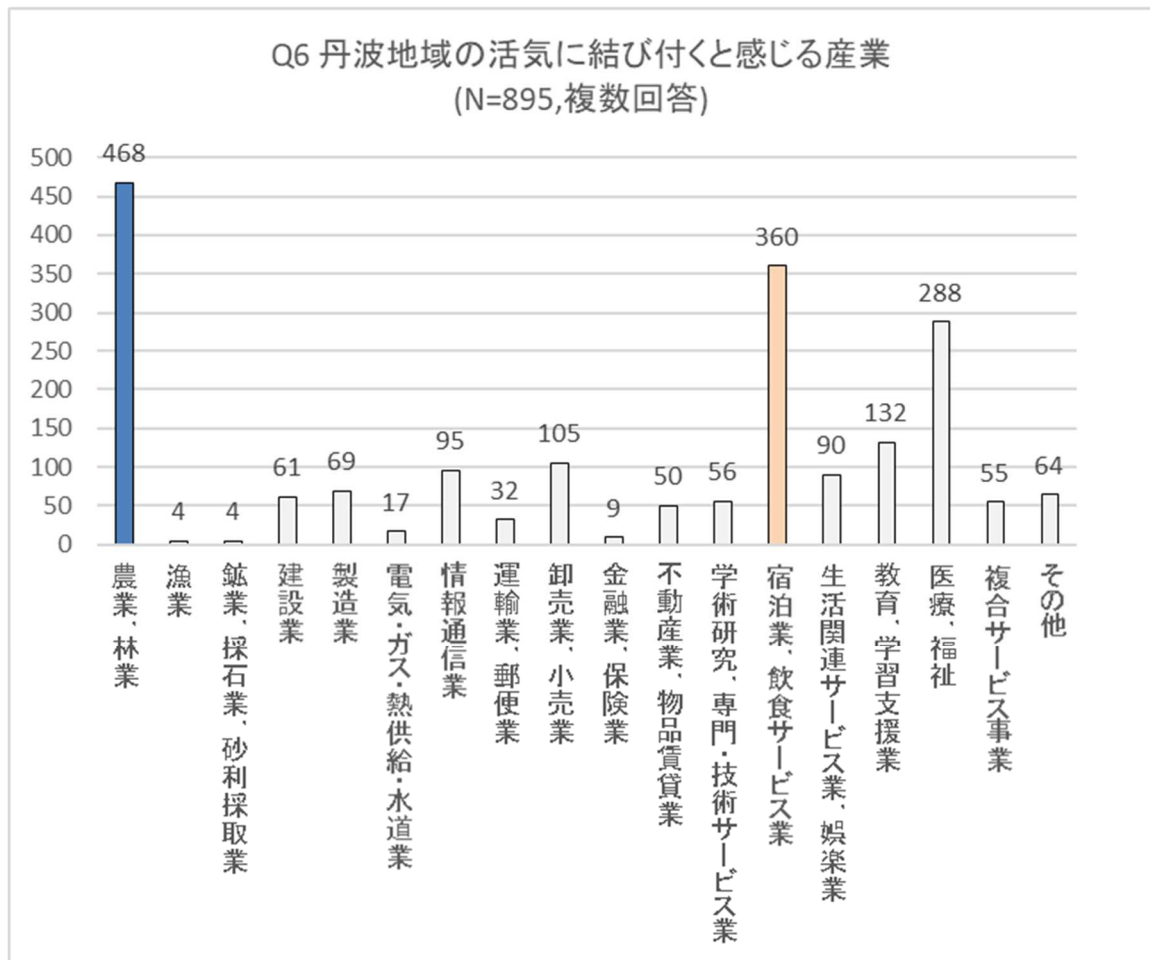
Q5. 丹波地域の暮らしや社会は、10年前と比べて豊かになったと思いますか。(複数回答可)



Q5「その他」の回答例

1	地域性もあると思いますが、段々と静かになってきた感じがします。皆さんと私も含め、歳を取ってきたんだなと感じます。活気は無くなったわけでもなく、ただ日常を送って行く事(田んぼや畑仕事・自治会活動)が大変そうです。
2	どの項目も地域差を感じる
3	賑わいが増えた地域と、過疎化が進んだ地域と大きく開いてきていると感じる
4	10年前と比べ、休耕田が激増し、荒れた土地が増えた。山も同様に荒れたまま放置されている。
5	そもそも、「暮らしや社会」が10年単位で変化するような時代ではないと思います。よって、判断できない。がお答えです。
6	市街地への人口移動が進みむ中、市街地は利便性が向上し、農村部はますます不便になってきている。
7	多様な価値観や表現ができやすい地域になった

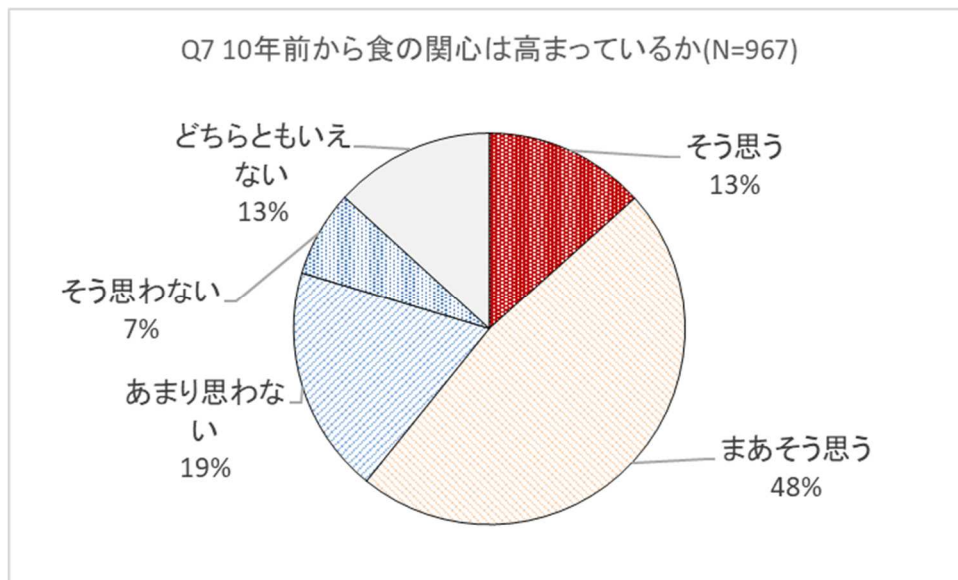
Q6. この10年間で、丹波地域の活気に結び付くと感じた産業はありますか。(複数回答可)



Q6「その他」の回答例

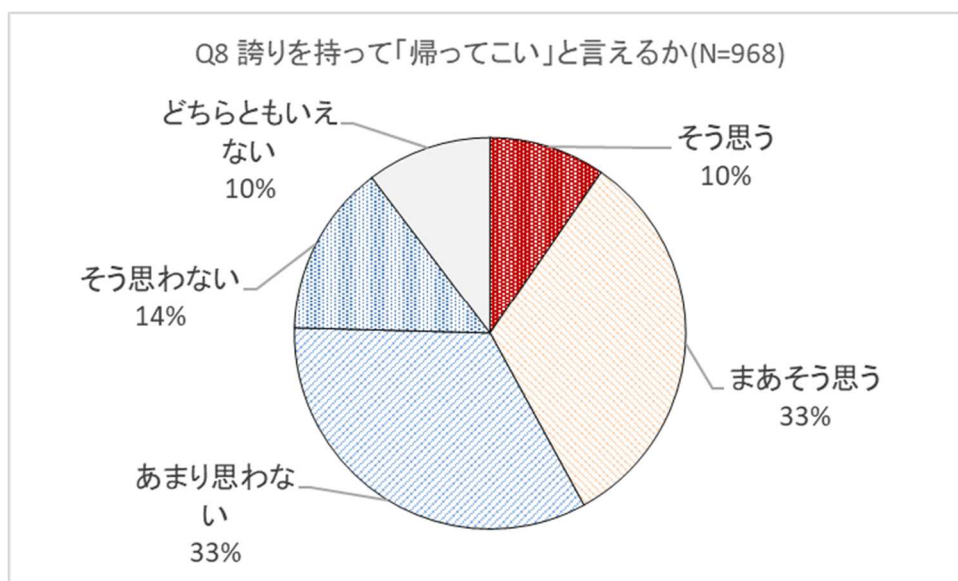
1	丹波という食の代名詞という地域ならではの地産地消の安全な給食の提供や、自然と共に成長できる子供の教育環境を整えられる能力が丹波地域にはあると思うし、それを実践することで、過疎化を減少させ、都市からの人口流入を増加することが可能になると思う。
2	良きにつけ悪しきにつけ、活気につながる要素と感じたこと。 良：大型店の進出、多様な飲食店の起業、医療、 悪：個人経営小売店の減少、農業生産者の減少、宿泊業の減少、
3	パン、菓子などの飲食
4	観光産業
5	Iターンの方たちによる活躍。

Q7. 丹波地域は、10年前と比べて農作物の地産地消や食育が進み、食に対する意識や関心が高くなっていると思いますか。

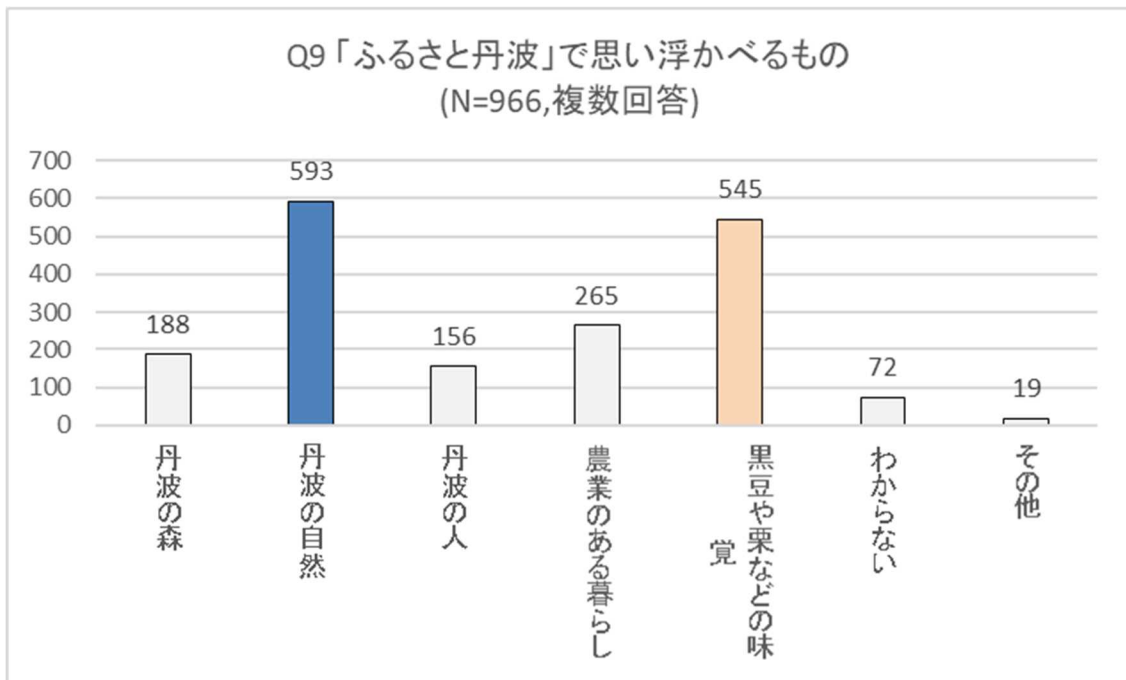


Q8. 丹波地域は、進学や就職などで一度地域を離れた人に、誇りを持って「住みたい、子育てしたい、帰ってきてほしい」と言える地域だと思いますか。

(生徒、学生の方) 進学等で丹波地域を離れても丹波地域に戻ってこよう、またはずっと丹波地域に住みたいと思っていますか。



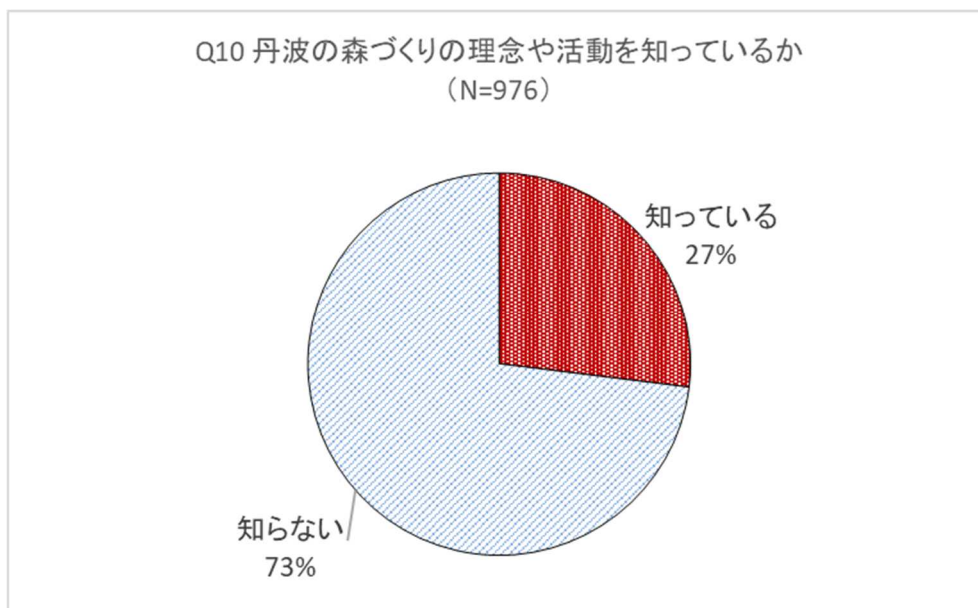
Q9. 「ふるさと丹波」という言葉で、何を思い浮かべますか。(複数回答可)



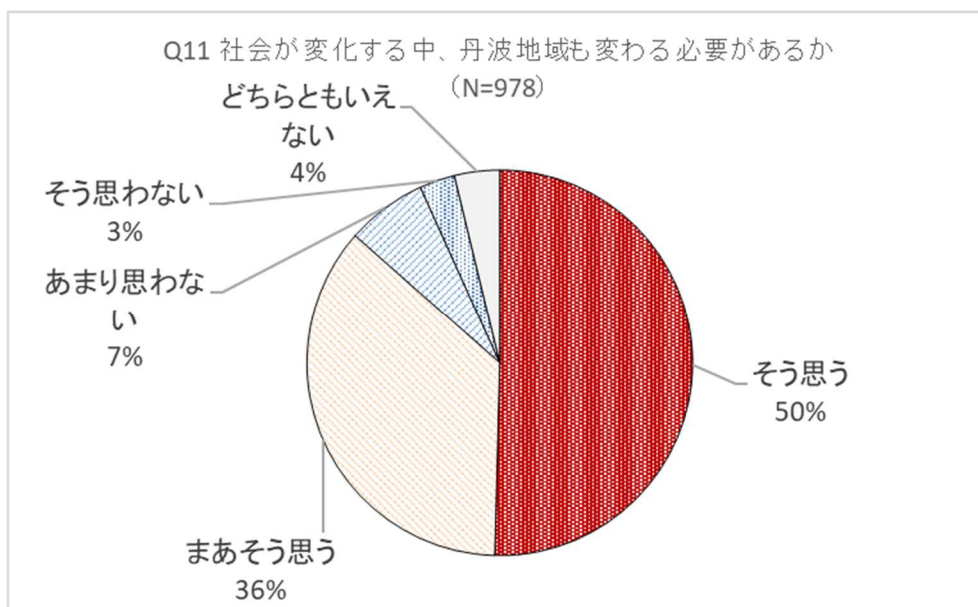
Q9「その他」の回答例

1	<ul style="list-style-type: none"> ・田舎 (たぶん、「ふるさと」の部分から) ・固定概念 (古き良き時代を今に伝えたいといった考えの押しつけ感)
2	古い街並み 自然の中でのゆったりとした暮らし 食や自然、伝統行事などから感じることのできる四季
3	歴史、文化、立杭焼等の伝統産業
4	お寺 (もみじ等)
5	農村の風景

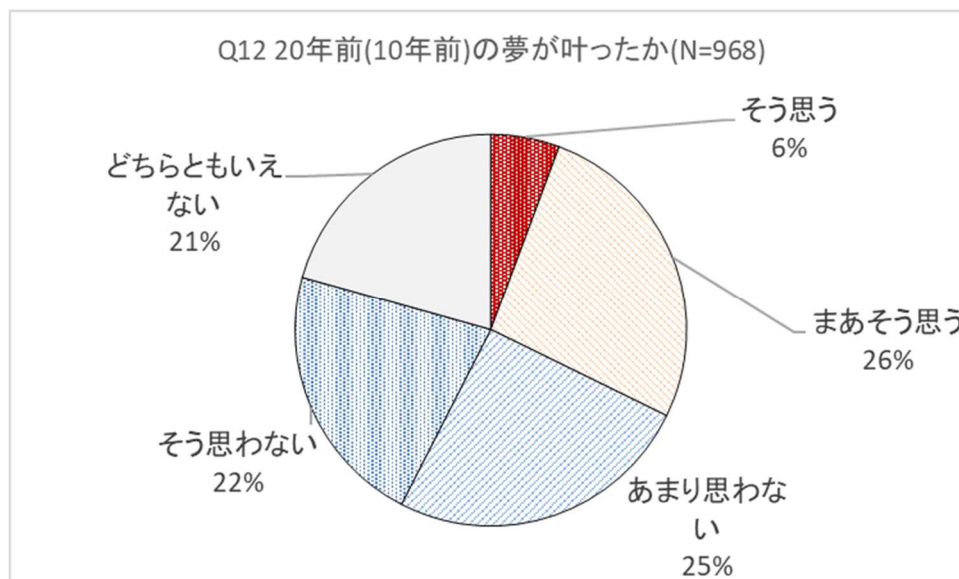
Q10. 「丹波の森づくり」の理念や活動を知っていますか。



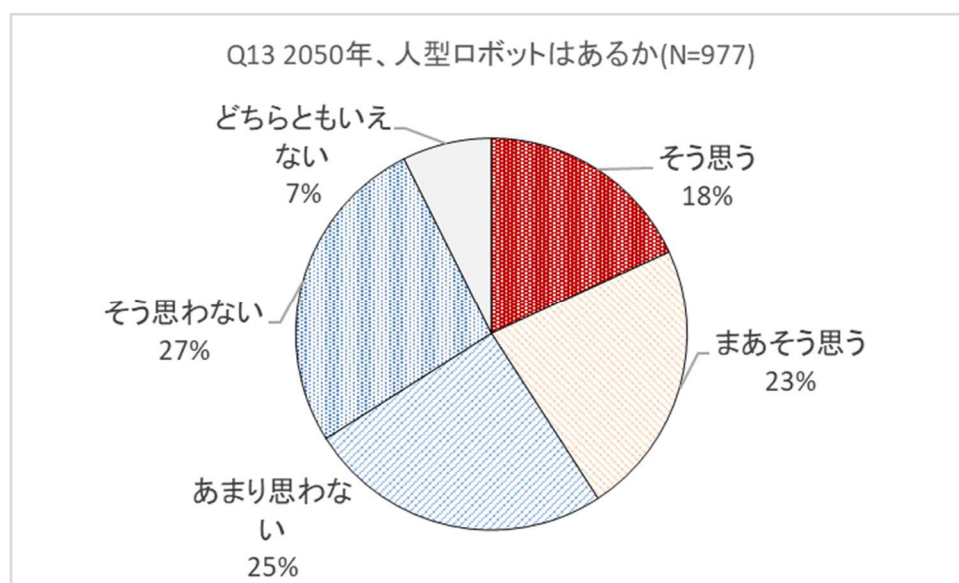
Q11. 国際化、情報化が進み、社会が変化していく中で、丹波地域も変わっていく必要があると思いますか。



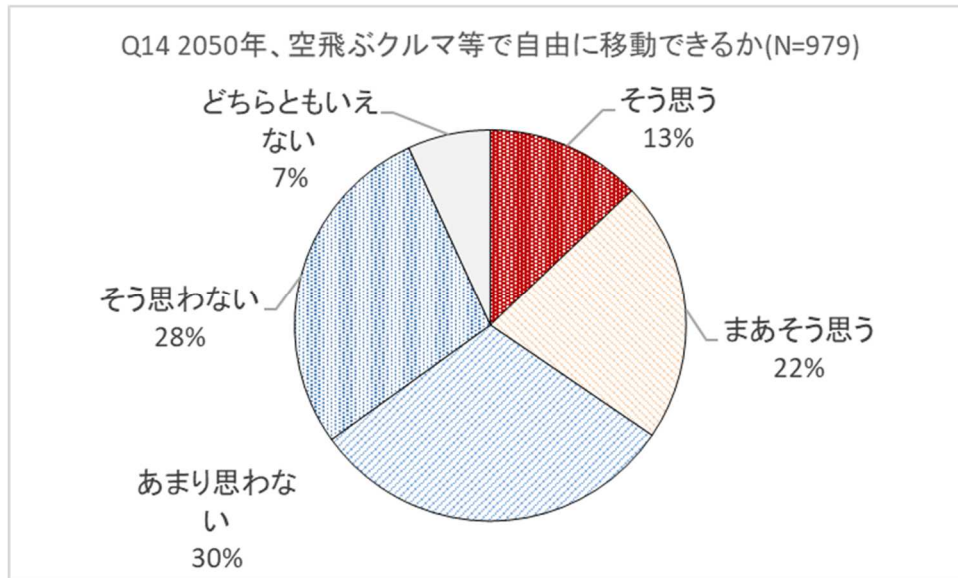
Q12. あなたが、20年前（20歳になっていない人は10年前）に思い描いていた夢は叶いましたか。



Q13. 2050年、あなたの家に人型ロボットはあると思いますか。



Q14. 2050年、空飛ぶクルマなどで、行きたいところに自由に行けるようになっていくと思いますか。



Q15. あなたが地域に恩返しや貢献ができるとしたら、どんなことですか（自由記述）

○多かった意見

- ・地元である丹波地域に住み続け、働き、子育てすること。
- ・自分の得意分野、経験、技能を生かして、地域の活性化に役立てたい。
- ・世代間の橋渡し、人と人や地域内外をつなぐ役割を果たす。
- ・丹波地域の魅力を広め、伝えること。

○特色のある意見を一部抜粋

1	移住者が増えることが望ましいが、丹波を第2の故郷として2拠点生活やボランティアなどに参加する方が、増えるような活動にかかわっていききたい。
2	まだまだ男女の格差（全て）があり、女性が住み続けたいと思う方が少ないので、地元地域から昔からの封建的な処を変えられるようにしてみたい。
3	温故知新という言葉があるように、歴史のある街丹波の個性を残しつつ、更に現代の新技术とマッチングさせた新たな取り組みを提案することで、このまちや次世代に丹波の魅力を伝えていきたい
4	世間話のなかで話題になるけど、ふわっとしていて消えてしまう想いやアイデア，危機感を記録し，他の人や未来世代に伝えていくこと。政策立案に役立てる形にまとめること。
5	学生でも関係なく地域と関わっていくこと 地域に元気を与えること
6	長年の海外暮らしと様々な国の人と働いた経験から、地域のボーダレス化のお役に立ちたい。 また、第一次産業の人手不足時のヘルプがしたい。

*10代においては、「将来、丹波地域に帰ってくること」が恩返しと考える回答が最も多かった。

【自由記述】質問の回答に対する補足、丹波地域にあったらいいなと思うもの、丹波地域の今やこれからに関すること、地域への不満、その他ご意見・ご感想など、自由にご記載ください。

○多かった意見

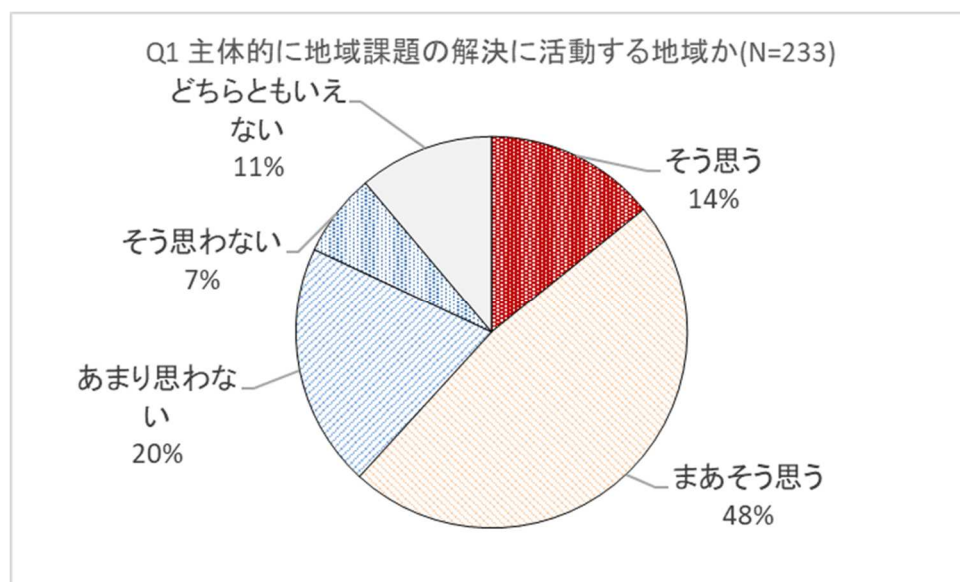
- ・子どもや若者が遊べる施設、場所が少ないので、丹波地域にあるとよい。
- ・車（マイカー）がなくても不便を感じないように、電車やバス等の交通機関を発展させてほしい。
- ・丹波の豊かな自然や恵みを守り、地域外にもっとアピールしていくべき。
- ・耕作放棄地が増えている。生産者が儲かるような農業の仕組みをつくり、農業従事者が意欲をもって取り組めるような政策が必要。

○特色のある意見を一部抜粋

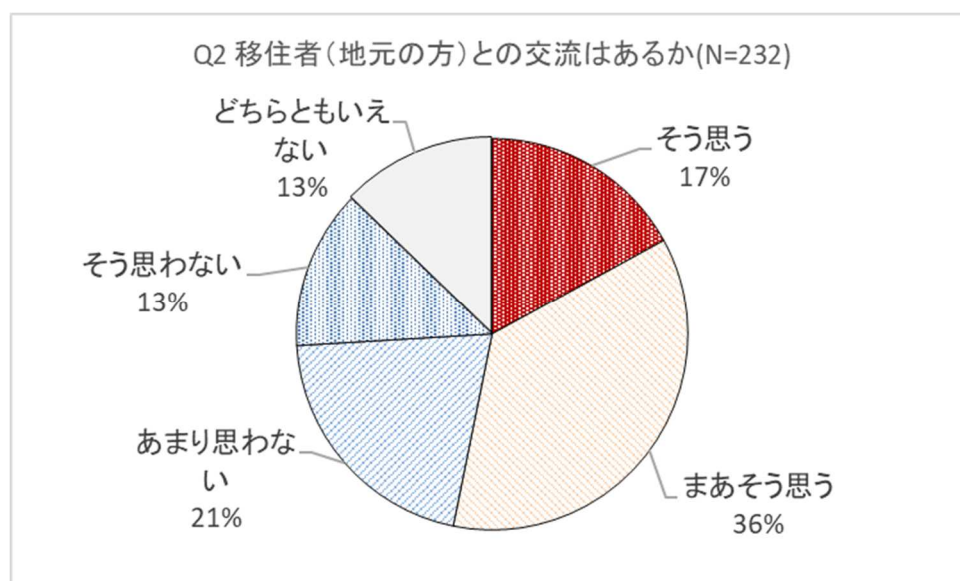
1	地域ビジョン委員会の活動を県民局が支援しているように、「交流促進パワーアップ事業」などを生きがいつくりのために、自由意思で集まる少数の人たちが、気軽に、長期間成果を上げることがあまり期待せずに活用できるものにしていけば、あちこちに地域活動を担う小さなグループが出来て、地域活性化につながるのではないかと思います。
2	林業が廃れて価値を回復できない山だらけの地域となっている。廃れた人工林だらけで自然豊かな山とは到底言えず、生物の乏しい川は貧しい川としか映らない。魅力を失ったこれらの自然環境を魅力ある自然に復活することが田舎の本当の魅力創出に不可欠と考える。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・丹波地域のシンボリックなイベント、観光施設、グルメはあったら良いと思います。また、大規模な工場団地を造成し企業誘致に取り組み、若い世代の雇用確保が必要であると思います。 ・丹波の森構想はすばらしい理念であるが、丹波の荒廃した森林を見ると説得力のないようなイメージを受ける。
4	<p>長年にわたる「丹波の森」などの取組から、丹波地域の良さを守っていく意識の醸成は、ほかの地域よりもできていると思う。</p> <p>しかし、加東市のように人口増になっている近隣自治体があるなかで、丹波地域はすでにこれだけ人口減少が進む地域になっているので、新しいものを取り込んだり、チャレンジすることにおっくうになってはいけないと思う。移住者、スマート農業機器、ノマドワーカーの受入れなど。</p> <p>さらには、空飛ぶ車などの革新技术は、どこの地域もスタートラインに立っていないのだから、2025年の万博に向け、急ピッチで丹波地域で1つに狙いを定めてやったらいいと思う。子どもの成長と同じで、1つできれば、そのうち2つめができるようになると思います。</p>
5	国際化や情報化については、そんな時代だからこそ、門戸を開くこと、寛容性は大切だと思う。一方で、だからと言って、丹波が変わらなければならない、と考える必要はなく、丹波の良さをより磨きながら、地域としての個性や価値観を大切にしてほしいと願います。そうすることで、国際化や情報化の時代に、丹波はより輝けると思うからです。

<調査結果>10代抽出（選択式の設問のみ）

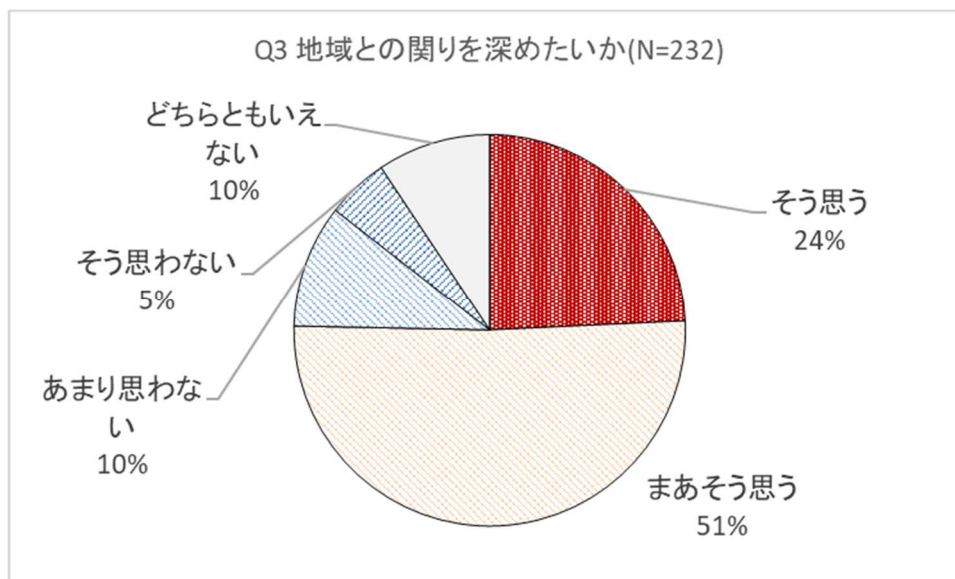
Q1. 丹波地域は、地域課題の解決に向けて地域住民が主体的に活動する地域だと思いますか。



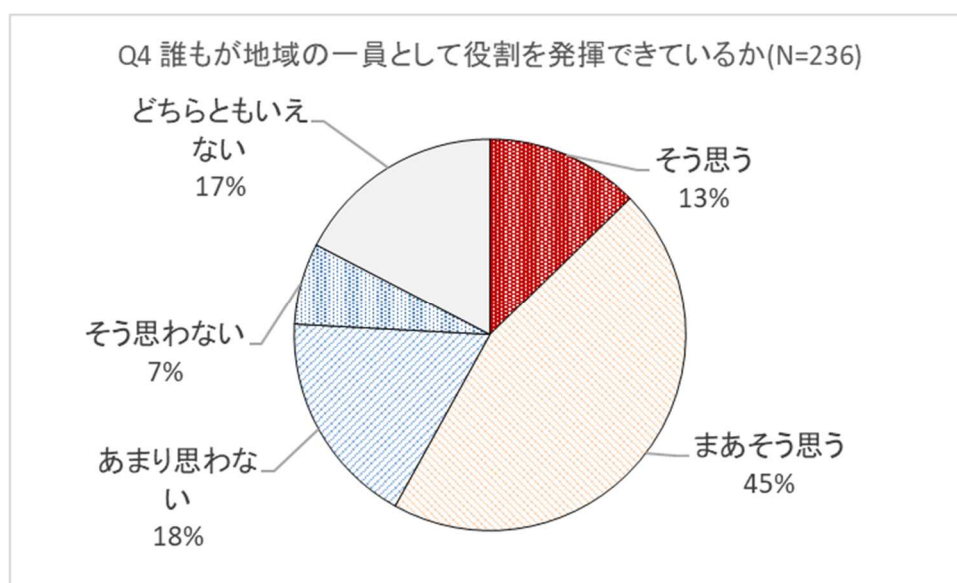
Q2. (丹波地域が地元の方) 丹波地域へ移住されてきた方との交流はあると思いますか。(移住してこられた方) 地域の人との交流はあると思いますか。



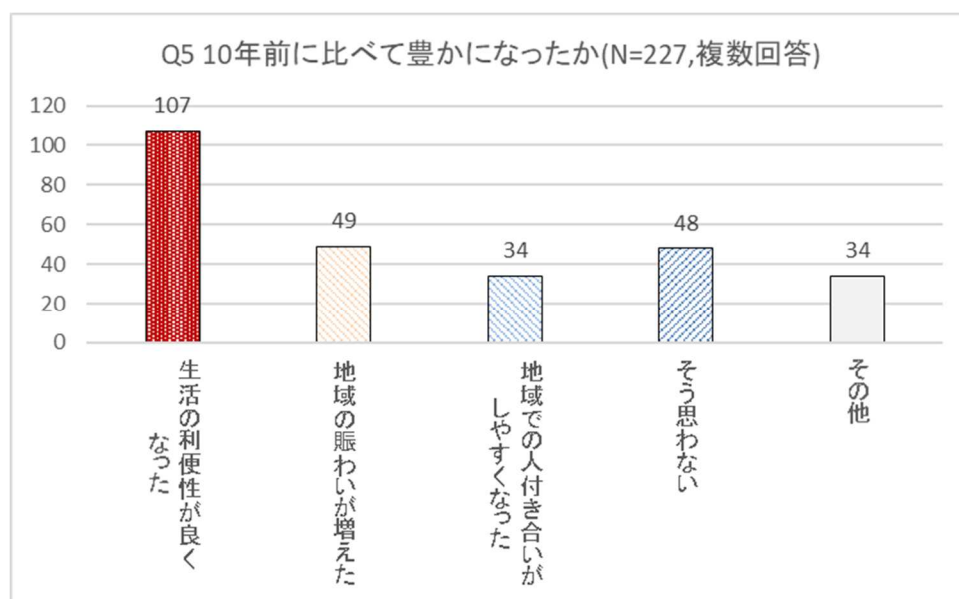
Q3. あなたは、地域との関わり（自治会活動への参加、困ったときの支えあいなど）を今よりも深めたいと思っていますか。



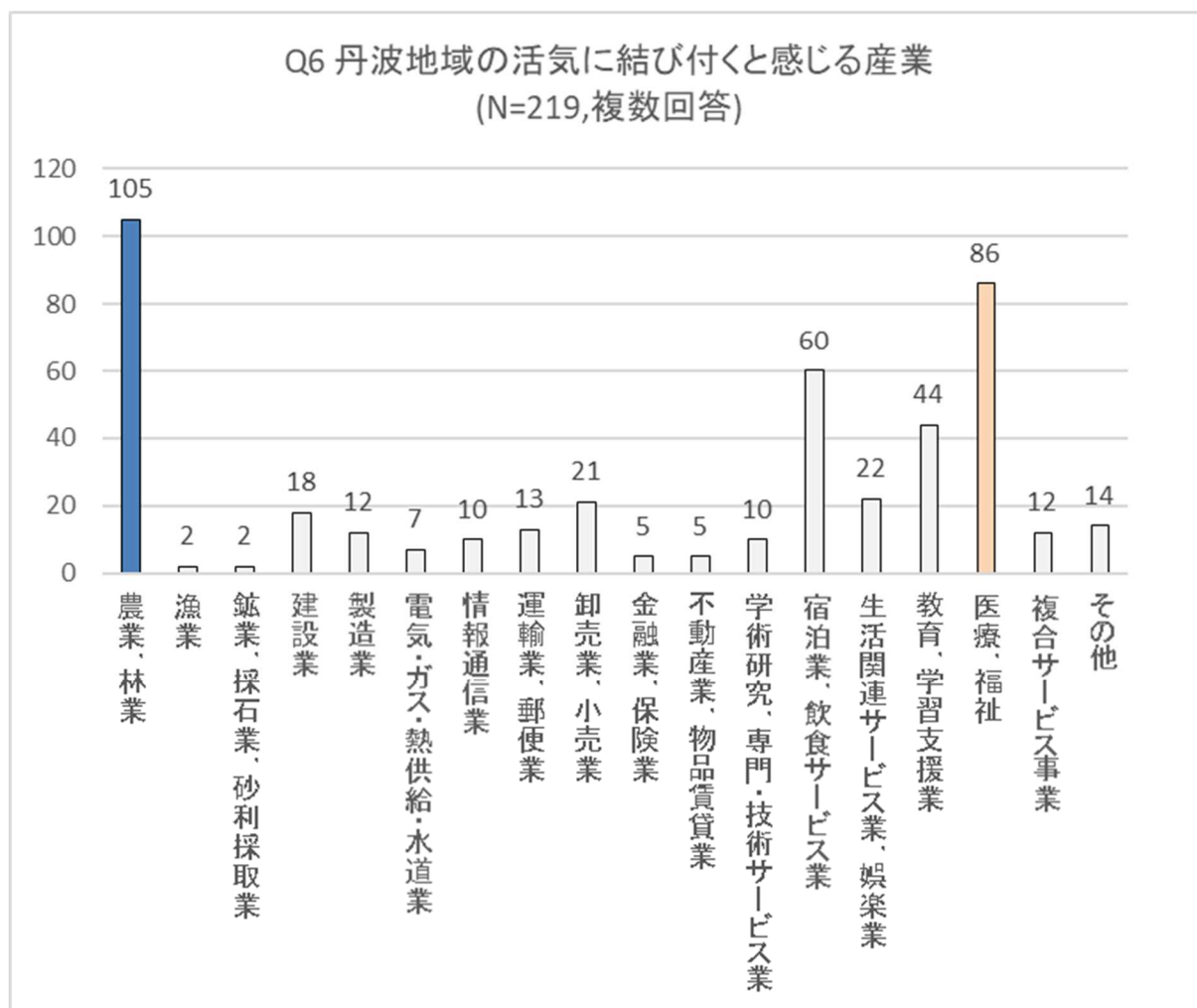
Q4. 丹波地域では、国籍、文化、年齢、性別、障がいの有無などに関わりなく、誰もが地域の一員として役割を發揮できていると思いますか。



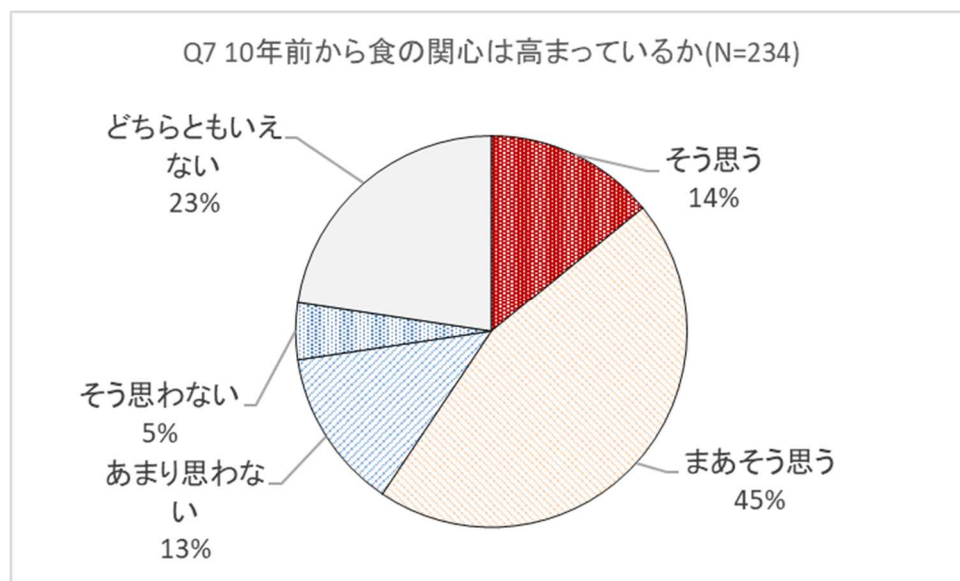
Q5. 丹波地域の暮らしや社会は、10年前と比べて豊かになったと思いますか。(複数回答可)



Q6. この10年間で、丹波地域の活気に結び付くと感じた産業はありますか。(複数回答可)

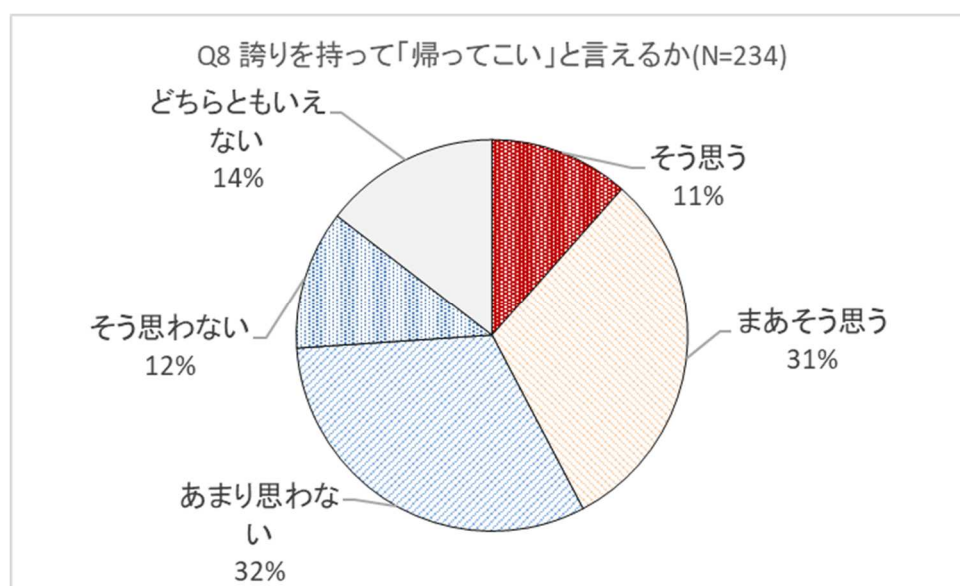


Q7. 丹波地域は、10年前と比べて農作物の地産地消や食育が進み、食に対する意識や関心が高くなっていると思いますか。

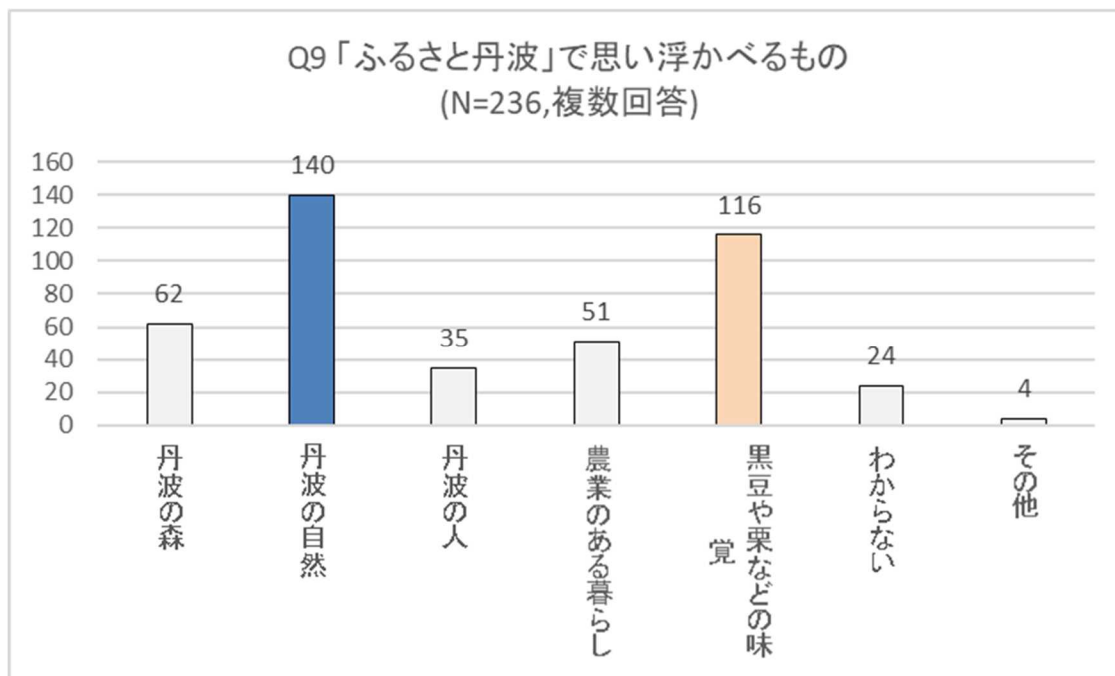


Q8. 丹波地域は、進学や就職などで一度地域を離れた人に、誇りを持って「住みたい、子育てしたい、帰ってきてほしい」と言える地域だと思いますか。

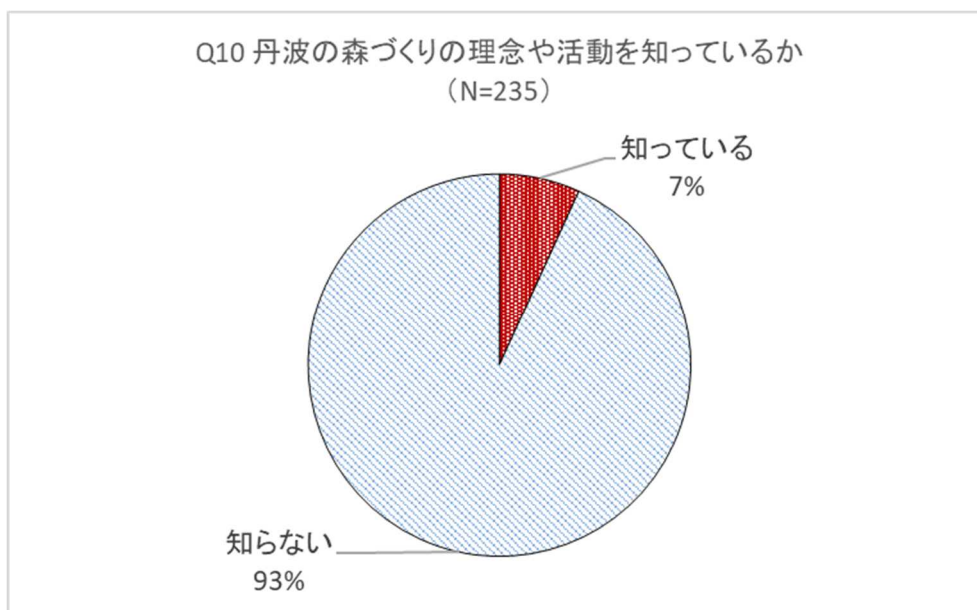
(生徒、学生の方) 進学等で丹波地域を離れても丹波地域に戻ってこよう、またはずっと丹波地域に住みたいと思っていますか。



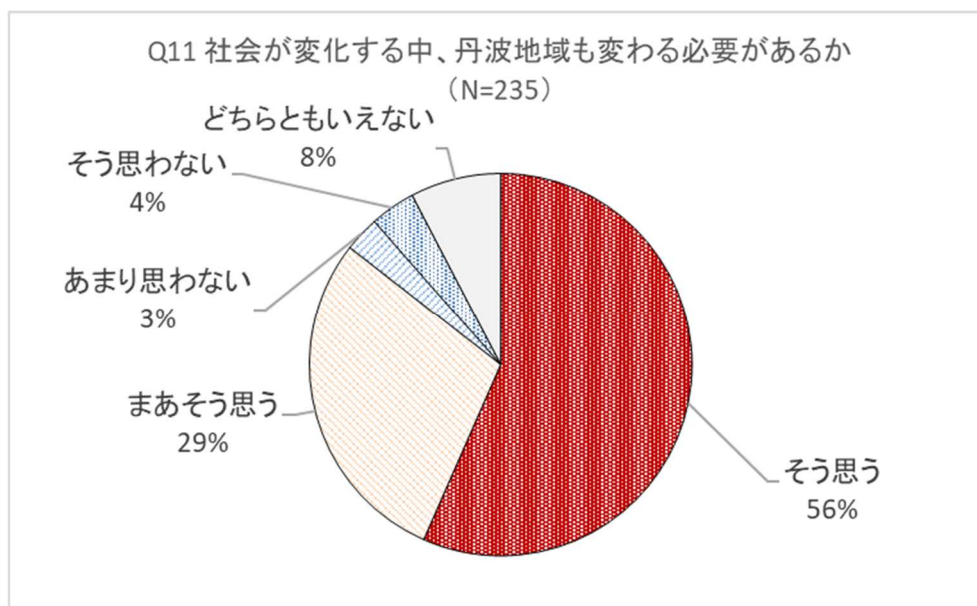
Q9. 「ふるさと丹波」という言葉で、何を思い浮かべますか。(複数回答可)



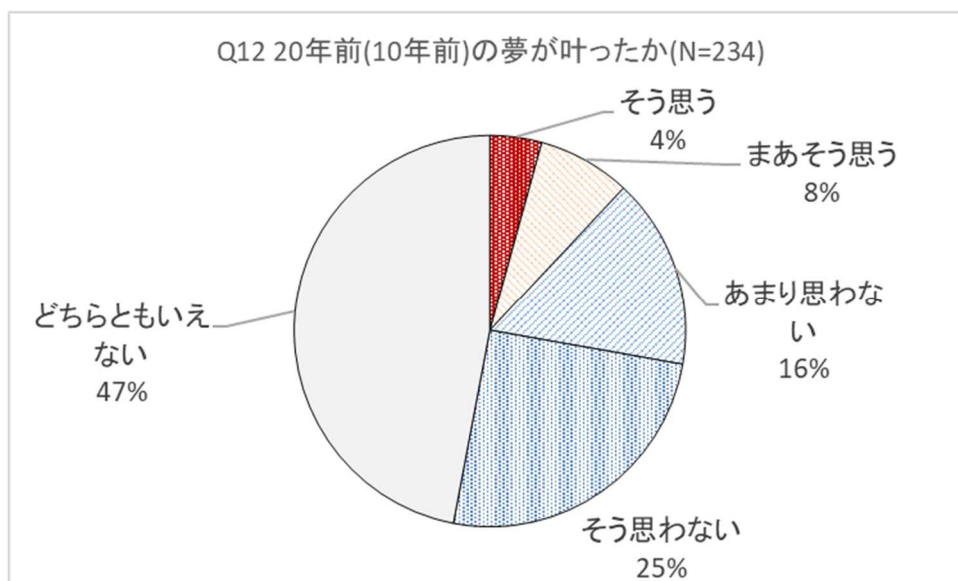
Q10. 「丹波の森づくり」の理念や活動を知っていますか。



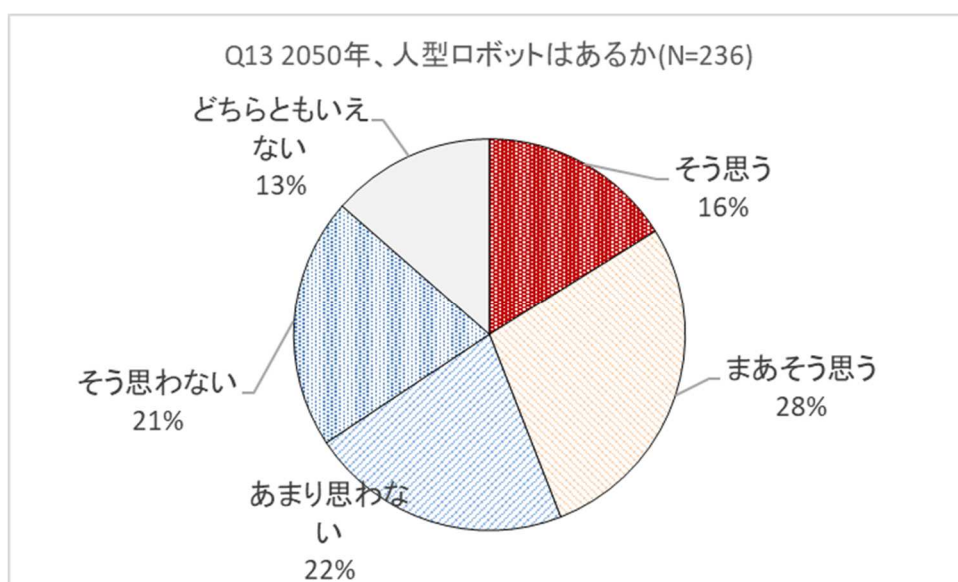
Q11. 国際化、情報化が進み、社会が変化していく中で、丹波地域も変わっていく必要があると思いますか。



Q12. あなたが、20年前（20歳になっていない人は10年前）に思い描いていた夢は叶いましたか。



Q13. 2050年、あなたの家に人型ロボットはあると思いますか。



Q14. 2050年、空飛ぶクルマなどで、行きたいところに自由に行けるようになっていくと思いますか。

